

私のライフ&ワークと CSR

CNCP サポーター
パシフィックコンサルタンツ株式会社
経営企画部 D&I 推進室長 飯島 玲子



私がサポーターになったきっかけは、昨年7月から参加している土木学会 社会貢献・市民交流 WG での CNCP の皆様との出会いでした。初回の会合では、私自身、まちづくりのコンサルティング経験が長いにも関わらず、社会貢献の捉え方の議論についていけませんでした。それでも、豊富な知識・経験をお持ちのベテランの皆様が熱く真摯に議論されている様子に感銘を受け、魅せられてサポーター参加に至りました。

そして、自身の子育て中の経験を振り返り、ソーシャルビジネスが身近にあったことに気付きました。長子が保育園に入ってから18年ほど、地域の保育園保護者をつなぐプラットフォーム組織の幹事を務め、その間、ほかの子育て支援 NPO と協働する機会がありました。その NPO は、保育園を利用しない在宅子育て家庭こそ子育ての悩みを抱えやすいと、親同士の交流や学習機会の提供、一時預かり、行政の政策検討の支援など、様々な活動を展開していました。このほかにも、病児保育を提供する NPO や、学童保育を補い「小1の壁」に対応する企業も現れ始めました。

現在の私の仕事は、社内のダイバーシティ&インクルージョン経営（以下、D&I 経営）の推進です。ダイバーシティとは、組織や集団にいる人の多様性です。性別、年齢、国籍など目に見えやすい表層的な特性だけではなく、経験、スキル、価値観など見えにくい深層的な特性も含まれます。D&I 経営は、こうした一人ひとりの違いを尊重、受容し、強みとして相互に活かすインクルージョンにより、ビジネス環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、イノベーションを生み出そうとする経営です。

最近では、新卒採用の3~4割が女性、そして結婚・出産で辞める女性はほとんど見られませんが、私が技術職として入社した1990年代からしばらくは女性の採用が少なく、かつ離職も多い状況でした。嘆いているだけではだめだと、ランチ会で女性のネットワークを作り、社長参加の意見交換会を開き、本社に制度改善を働きかけました。当時の草の根活動の想いが、今の仕事の礎になっています。

D&I 経営は、弊社では組織を強くする「経営戦略」と捉えています。女性活躍などの社会的課題解決に貢献する点では CSR とも考えられます。このようなことについても、いつか皆様と議論できることを楽しみにしています。積極的に勉強・活動したいと思いますので、今後ともご指導の程、宜しく願いいたします。

